

ハンガリー経済・金融概況

Main Economic & Financial Indicators (Hungary)

経済調査室

Economic Research Office

(照会先：ダーベル暁子 akiko.darvell@uk.mufg.jp)

概況	消費
<p>ハンガリー経済に持ち直しの兆しが見え始めている。内需の減退や、主要輸出先であるユーロ圏の景気後退等を受け、同国経済はマイナス成長が続いてきたが、第 2 四半期は 6 四半期ぶりにプラス成長に転じた。需要項目別の内訳は未発表だが、最大の輸出先であるドイツ経済の持ち直しを背景に、外需が成長率全体を押し上げたと考えられる。ただし、ドイツを含め、ユーロ圏景気の回復は緩慢なものとなることが予想され、外需の力強い回復は期待できない。</p> <p>内需については、底打ちの兆しも見られるが、基調は依然弱い。失業率やインフレ率の低下を受けて消費者マインドは低水準ながらも上向いているが、銀行の貸出基準厳格化の継続や財政緊縮の影響等の下押し要因は依然残る。企業投資についても、税負担の増加や銀行貸出の減少を受けて冷え込みが続いている。ハンガリー中央銀行は昨年以降、政策金利引き下げなど、金融緩和を推し進めてきた。しかし、銀行税等の導入やフォリント安を受けた外貨建住宅ローンの不良債権化問題による銀行経営悪化の影響で、銀行の貸出に対する慎重姿勢は今後も続くことが予想され、利下げの効果は限定的なものとなる。また、米 FRB による金融緩和縮小観測の高まりを背景とした新興国からの資本流出懸念で、中銀による金融緩和サイクルが終わりに近づいているとの見方が強くなってきている。これらを鑑みると、内需は今後も弱含みの推移が続くと予想され、景気の本格的回復はしばらく先となると考えられる。</p>	<p>6 月の実質小売売上（速報値、営業日調整済）は、前年比 ▲0.6%と 3 カ月ぶりにマイナスに転じた。消費者マインドについては、景気見通しや失業懸念の改善等を背景に、低水準ながらも上向いている。インフレの鈍化や失業率の低下などが消費者心理改善に貢献していると考えられる。ただし、5 月の失業率は 10.3%と前年同月の 10.9%から改善しているものの、その水準は依然高い。また、銀行貸出も引き続き減少しており、消費を巡る環境は依然厳しい。</p>  <p>(前年比%) 小売売上、消費者物価、消費者信頼感</p> <p>(資料)Macrobondより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成</p>
<p>GDP</p>	<p>物価/政策金利</p>
<p>第 2 四半期の実質 GDP 成長率（速報値）は前年比+0.5%と 6 四半期ぶりにプラスの伸びに転じた。産業別の内訳では鉱工業、農業、建設業の伸びが全体を牽引した。特に農業は前年が悪天候の影響で不作であったことで、大幅な伸びとなったと考えられる。建設業については、政府の景気対策によるインフラ整備プロジェクトの実施が押し上げ要因と見られる。</p>  <p>(前年比%) 実質GDPと需要項目別寄与度</p> <p>(資料) Macrobondより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成</p>	<p>7 月の消費者物価上昇率は前年比+1.8%と、前月の同+1.9%から鈍化し、中銀のインフレ目標率（2-4%）の下限を 4 カ月連続で下回った。食料品価格の上昇率が前月の同+4.1%から同+2.8%に低下したことが主因。</p> <p>中銀の金融政策委員会は 7 月 23 日、政策金利を 0.25%ポイント引き下げ、4.0%とした。利下げは 12 カ月連続。マトルチ中銀総裁は委員会後、米金融当局による量的緩和縮小観測の高まりで金融市場が不安定となっていることを受け、今後、金融緩和のペースや内容を調整していくと述べた。</p>
<p>生産</p>	<p>政府財政</p>
<p>6 月の鉱工業生産（速報値）は前年比 ▲0.6%と、前月の同 ▲2.1%から減少幅は縮小したものの、2 カ月連続で前年水準を割り込んだ。7 月の製造業 PMI は、49.0 と前月の 50.8 から悪化し、拡大・縮小の分岐点である 50 を下回った。内訳をみると、生産・新規受注指数における拡大幅が前月に比べ縮小したほか、雇用指数が上向きつつも引き続き 50 を下回った。最大の輸出先であるユーロ圏の 7 月の製造業 PMI は 2 年ぶりに 50 を上回ったが、その回復は緩慢なものとなることが予想され、ハンガリーにおける生産の本格的回復もしばらく先となる可能性が高い。</p>	<p>ハンガリーは 2004 年以降、財政赤字が対 GDP 比 3.0%を超過したため、EU の過剰財政赤字是正手続き（EDP）下にあった。しかし、政府が金融取引税や通信税の税率引き上げなど、追加の財政赤字対策の実施を明らかにし、2013 年以降の財政赤字を同 3.0%未満に抑制できるめどが立ったことから、EU は 6 月末、同国を EDP の対象から外すことを決定した。ただし、これまでの財政赤字削減策は私的年金の国有化といった一過性の措置や、金融機関を中心とした企業に対する増税・新税導入などが主であり、政府支出の構造改革等を通じた持続的な赤字削減策は見当たらない。また 2014 年に国民議会選挙を控え、今後、ポピュリスティックな支出増が予想され、財政赤字が同 3.0%を上回る可能性は高いとみられる。</p>
<p>生産</p>	<p>対外債務</p>
<p>生産</p>	<p>ハンガリー政府は 8 月 12 日、2008 年に IMF から受けた融資の支払残高 22 億ユーロを、支払期限より 7 カ月前倒して完済した。ハンガリーは IMF と予防的クレジットラインの交渉を行ってきたが、中央銀行の独立性等を巡って対立し、今年 1 月以降交渉は中断していた。今回の IMF 融資の完済と先般の EU による過剰財政赤字是正手続き解除で、経済政策や財政における自由度が拡大したことは、2014 年の国民議会選挙を控え、政治的な意味合いは大きいといえる。その一方で、今後は金融市場からの資金調達に頼らざるを得ず、高い借入コストや、市場変動リスクに対する脆弱性の問題などが懸念される。</p>

# ハンガリー経済・金融概況

## 1. 年、四半期

	2010	2011	2012	12/Q2	12/Q3	12/Q4	13/Q1	13/Q2
名目GDP実額 (10億米ドル)	127.8	138.6	125.5	30.4	31.9	35.3	28.7	-
実質GDP成長率 (y/y, %)	1.3	1.6	▲ 1.7	▲ 1.7	▲ 1.7	▲ 2.7	▲ 0.9	0.5
(民間消費支出) (y/y, %)	▲ 3.1	0.5	▲ 1.3	▲ 0.5	▲ 3.7	▲ 0.9	▲ 0.6	-
(総固定資本形成) (y/y, %)	▲ 9.1	▲ 3.5	▲ 3.7	▲ 3.0	▲ 1.7	▲ 5.7	▲ 5.6	-
鉱工業生産 (y/y, %)	10.6	5.8	▲ 1.7	▲ 0.8	▲ 0.9	▲ 5.5	▲ 3.8	0.7
小売売上(稼働日調整済み) (y/y, %)	▲ 2.3	0.3	▲ 2.1	▲ 2.1	▲ 2.5	▲ 3.8	▲ 2.0	1.6
銀行貸出伸び率 (y/y, %)	4.1	▲ 0.1	▲ 13.2	▲ 5.4	▲ 11.9	▲ 13.2	▲ 6.2	▲ 5.9
消費者物価上昇率 (y/y, %)	4.9	3.9	5.7	5.5	6.1	5.4	2.9	1.8
平均賃金上昇率 (y/y, %)	1.4	5.2	4.7	4.3	4.9	5.0	2.9	-
失業率* (%)	11.2	11.0	10.9	10.9	10.4	10.8	11.5	-
貿易収支* (百万米ドル)	7,280	9,834	8,758	2,484	2,200	1,871	2,335	2,532
輸出額 (百万米ドル)	94,584	111,056	102,988	25,888	24,962	26,010	26,231	26,777
輸出伸び率 (y/y, %)	15.3	17.4	▲ 7.3	▲ 9.0	▲ 10.6	▲ 4.5	0.4	3.7
輸入額 (百万米ドル)	87,304	101,222	94,229	23,404	22,762	24,139	23,895	24,245
輸入伸び率 (y/y, %)	13.7	15.9	▲ 6.9	▲ 10.1	▲ 11.2	▲ 3.8	▲ 0.2	3.7
経常収支 (百万米ドル)	1,410	1,123	2,190	731	1,113	385	725	-
資本収支 (百万米ドル)	4,650	6,932	▲ 7,369	▲ 1,313	▲ 2,508	▲ 761	1,473	-
対内直接投資 (百万米ドル)	2,179	5,200	13,004	1,398	1,744	5,006	848	-
外貨準備高 (百万米ドル)	43,147	45,393	41,891	38,995	40,486	41,891	43,155	43,811
対外債務残高 (百万米ドル)	185,498	171,807	161,015	169,048	160,526	161,015	162,227	-
株価指数	22,487	20,502	18,060	17,280	17,767	18,508	18,828	18,625
短期金利 (interbank BUBOR 3m, %)	5.50	6.19	6.98	7.21	7.06	6.24	5.42	4.58
EU調整長期金利(Govt.10y bond yields, %)	7.28	7.64	7.89	8.47	7.40	6.75	6.30	5.58
Forint/USD	208.17	201.18	225.11	229.24	226.30	218.57	224.60	226.49
Forint/Euro	275.38	279.36	289.30	293.93	283.05	283.46	296.56	295.74
Forint/GBP	321.33	322.20	356.61	362.75	357.40	350.89	348.46	347.74

## 2. 月次

	12/12	13/01	13/02	13/03	13/04	13/05	13/06	13/07
鉱工業生産 (y/y, %)	▲ 7.3	▲ 1.8	▲ 6.0	▲ 3.6	4.9	▲ 2.1	▲ 0.6	-
小売売上(稼働日調整済み) (y/y, %)	▲ 2.7	▲ 2.3	▲ 1.1	▲ 2.7	3.1	2.2	▲ 0.6	-
銀行貸出伸び率 (y/y, %)	▲ 13.2	▲ 9.2	▲ 6.2	▲ 6.2	▲ 6.4	▲ 9.5	▲ 5.9	-
消費者物価上昇率 (y/y, %)	5.0	3.7	2.8	2.2	1.7	1.8	1.9	1.8
平均賃金上昇率 (y/y, %)	4.9	2.8	2.8	3.2	4.5	3.0	-	-
失業率* (%)	11.2	11.6	11.8	11.0	10.5	10.3	-	-
貿易収支* (百万米ドル)	191	438	853	1,030	931	831	771	-
輸出額 (百万米ドル)	7,068	8,552	8,773	8,894	8,968	8,974	8,835	-
輸出伸び率 (y/y, %)	▲ 9.7	6.4	▲ 0.9	▲ 4.3	11.2	▲ 0.6	0.6	-
輸入額 (百万米ドル)	6,877	8,114	7,920	7,863	8,037	8,143	8,064	-
輸入伸び率 (y/y, %)	▲ 7.5	7.1	0.5	▲ 7.7	7.3	0.6	3.2	-
株価指数	17,920	19,076	18,991	18,401	18,042	18,796	19,069	18,864
短期金利 (interbank BUBOR 3m, %)	5.89	5.69	5.44	5.11	4.81	4.54	4.36	4.13
EU調整長期金利(Govt.10y bond yields, %)	6.44	6.23	6.29	6.38	5.65	5.08	6.02	-
Forint/USD	218.45	220.95	219.09	233.84	229.42	225.55	224.37	225.53
Forint/Euro	286.21	293.94	292.73	303.07	298.93	292.71	295.70	294.90
Forint/GBP	352.29	352.82	339.03	352.67	351.25	344.79	347.28	342.17

(注) 失業率は3カ月移動平均。貿易収支は通関データ。

(資料)ハンガリー統計局、ハンガリー中央銀行、Macrobond 他

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の売買や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくご願ひ申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当室はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されています。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。